

2022年度 北海道 NPO サポートセンター 活動計画

1. ビジョン・ミッション

ビジョン	【2022年度改訂（案）】 市民一人ひとりが「自分」や「社会」の課題と向き合い、主体的にアクションし続け、 時にはチャレンジャー、時にはフォロワーとして協力し合えるコミュニティを形成すること で、「課題解決先進地域 北海道」を実現する。
ミッション	2022年度中に改定予定

2. 北海道 NPO サポートセンターグループ戦略プロジェクトについて

①北海道 NPO サポートセンター中長期計画の策定について

ビジョン、ミッションの再構築の作業を行いながら、北海道 NPO サポートセンターグループの**中長期計画**を策定します。

▶策定までのステップ

時期	実施事項
4月	事務局と理事で「北海道 NPO サポートセンター戦略チーム」を組成し、 戦略プロジェクト の枠組みを設定し、推進する仕組みを構築する。
5月-6月	事務局内で、ビジョン、ミッションを共有しアップデートする。
7月-8月	事務局+理事でビジョン、ミッションを議論し 「新ビジョン・ミッション」として掲げる。
6月-12月	部門制度を導入し、事業間の相乗効果を設計することで、ビジョン実現、ミッ ション達成に向けて既存事業の更なる充実化、新規事業の創造に取り組んでいく。

※ステップは暫定版であり、変更の可能性があります。

②北海道 NPO 総合戦略策定について

上記「北海道 NPO サポートセンターの中長期計画」策定に伴い、北海道内の様々なステークホルダーが「今後の北海道の NPO の在りたい姿や可能性」について対話を行ったうえで、協働しながら進んでいくための「北海道 NPO 総合戦略」を策定します。

▶策定までのステップ

時期	実施事項
6月	総会イベントで、「北海道 NPO 総合戦略」策定に向けたキックオフ会議を開催し、北海道全体で対話を行うための第一歩とする。
7月-12月	北海道内各地で、多様なセクターと対話の場を創出する。
1月-3月	対話の結果を基に、「北海道 NPO 総合戦略」、「戦略実行に向けたアクションプラン」を策定し、発表する。

2023 年度 4 月	アクションプランを実施する。
----------------	----------------

※ステップは暫定版であり、変更の可能性があります。

3. 各事業の計画一覧（上記戦略検討により、部門ごとの事業を再編しています）

■思いを形にする・支える

No	事業名		事業内容／2021 年度
	メイン項目	サブ項目	
1	設立・相談事業	1) 立ち上げ・創業相談	◇立ち上げに関する相談対応
		2) 運営相談	・法人運営、会計、経営等の相談対応 ・事業承継の相談対応 ・新型コロナウイルス感染症対策活動団体支援協議会の活動
2	NPO バックオフィス支援事業	1) 会計サポート	・引き続き、道内 NPO 等の会計サポートの実施 ・HP 等でわかりやすいサポートメニューと料金表を提示し、さらなるサポート先開拓に努める。
		2) 事務受託事業	・引き続き、事務局サポートを実施 ・サポートメニューの幅を広げ、さらなるサポート先開拓に努める。
		3) その他	・会計サポーター養成研修をオンラインで開催し、会計サポーターの増加に努める。
3	運営サポート事業	1) 事業評価・組織評価	・引き続き北海道 NPO ファンドの助成事業等の一環として実施 ・評価に関する研修等を開催するなど、北海道内に事業評価・組織評価の意義、方法、成果などを拡げる。
		2) 共同事務所運営事業	・入居団体との意見交換などを行い、よりよい環境づくりに努める。 ・活用方法を再検討するなどにより、入居団体増に努める。
		3) 札幌市協議会事業	・昨年度までの業務に加えてさぼーとほっと基金見直しについても業務の範囲となる予定であり、行政との協働を進める。
4	人材育成事業	テーマ別研修会	①会計講座・・・毎月 1 回程度実施 ②その他講座・・・検討中
5	資金調達事業	1) NPO への助成	1) 北海道 NPO ファンドとの連携 ・休眠預金等活用事業（助成先への伴走支援を中心に実施） ・北海道災害復興支援基金（災害への備え、コロナ感染症対策等）
		2) NPO への融資	北海道 NPO バンクとの連携

■思いを醸成する

No	事業名		事業内容／2021 年度計画
	メイン項目	サブ項目	
1	市民向け講座・講演会		NPO・市民活動等に関する市民向けの講座・講演会を開催
2	調査・研究・提言事業	1) 調査研究事業	検討中
		2) 政策提言	NPO 等へのコロナの影響をふまえ、道・市への要望等を実施
3	休眠預金等活用事業	北海道 NPO ファンドが資金分配団体として実施。	■2020 年度休眠預金事業（一般枠）の運営に引き続き参画 「事業名：子ども若者を主体の持続可能な地域づくり～もう一度、地元の力でできることを探そう」

			<p>■2021 年度休眠預金事業（一般枠）の運営に引き続き参画 「地方における学習・能力向上機会の拡充による選択格差の解消～小中を通じた「なりたい自分」の選択視野を広げる地域教育」</p> <p>■2022 年度休眠預金事業を検討</p>
4	生活支援コーディネーター養成研修事業	北海道保健福祉部高齢者支援局高齢者保健福祉課より受託	<p>下記の内容を中心に生活支援コーディネーターの活動支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養成研修を道央、道南、道東の三か所で実施 ・フォローアップ研修を全道 9 か所、およびオンラインで実施。
5	アクティブシニア等活躍支援事業	北海道保健福祉部高齢者支援局高齢者保健福祉課より受託	<p>下記の内容を中心にアクティブシニアの活躍支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全道 12 か所にアクティブシニア活躍支援コーディネーターの配置 ・アクティブシニア活躍支援セミナーを全道 12 か所程度で実施 ・生活支援担い手養成講座を全道 12 か所程度で実施
6	災害支援事業		北の国サポートチーム及び北海道 NPO ファンドと連携し、当センターの役割等を検討
7	道内避難者相談（心のケア事業）	北海道総合政策部地域創生局地域政策課より受託	避難者への情報誌の発送、相談窓口の設置、オンラインで交流会の開催など

■思いをつなげる

No	事業名		事業内容／2021 年度計画
	メイン項目	サブ項目	
1	情報発信事業		<p>【実績】NPO 情報（会員向けの情報）、ホームページ、Facebook</p> <p>【次年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●サポートセンターポータルサイトの作成中 ・どのようにその情報を発信できるとよいのか？を検討中 ・単に団体名や連絡先を知らせてアクセスを期待するのではなく、興味を持つ人の背中を押せるような発信の仕方を検討 ・NPO や非営利活動を行っている方のことや、寄付や支えになるものを必要としている人たちがいるということを広く認知してもらうための発信活動の実施
2	市民と NPO をつなぐ事業	1) NPO の学校プロジェクト	<p>【実績】よのなか学園参照</p> <p>【次年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2021-よのなか学園（つながり学科、つながり研究会） ・NPO と市民をつなげる講座としてオンラインで開催
		2) 有料職業紹介事業	<p>【実績】生駒市への視察訪問</p> <p>【次年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●求人・就職促進のための有料職業紹介事業 ・事業の見直し／仕切り直しを検討
		3) 大学連携プロジェクト	<p>【実績】なし</p> <p>【次年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●課題解決型クラウドファンディング調査研究の実施 ・協賛：北海道労働金庫 ・道内の大学生～大学院生 3 名を採択し、6 月～10 月にかけて調査の実施

3. その他活動・事業について

(1) 委員会等への出席

①審査委員・・・控除対象特定非営利活動法人審査委員会、ろうきん助成、全労済助成

(2) 会員数

目標：団体会員 200 団体、個人会員 100 人を目標 実績：2021.3.31 時点 166 団体、個人 62 名

(3) 小林董信氏基金の造成（北海道 NPO ファンド）